

カフェで楽しむ里海ボードゲーム 開催しました！



- 日時 令和5年12月10日(日)15:00~17:00
- 場所 讃岐おもちゃ美術館cafe (高松市大工町)
- 講師 井下 由美 氏 (里海ゲームを活用したファシリテーション講座修了生)
吉岡 忠助 氏 (里海ゲームを活用したファシリテーション講座修了生)

12月10日(日)、讃岐おもちゃ美術館cafeにて、「カフェで楽しむ里海ボードゲーム」を開催し14名が受講しました。この講座は、里海について話し合いながら学ぶ里海ゲーム「SATO-UMI・1000」(サトウミ・セン)を実際に体験しながら、理想の海について考えるきっかけとなることを目的として開催しました。講座の進行は、「里海ゲームを活用したファシリテーション講座」の修了生である井下氏と吉岡氏が務めました。

講師の紹介の後、グループで自己紹介を行いました。そして、講師より里海ゲーム「SATO-UMI・1000」についての説明がありました。「SATO-UMI・1000」は、カードに書かれた内容をきっかけに、参加者同士で対話しながら「理想の里海」や「身近な里海づくり」について考え、学びあうゲームです。受講者はゲームで使用するカードの種類やゲームの進め方を聞いた後、実際にゲームを体験しました。



ゲームでは、初めにじゃんけんなどでスタートプレイヤーを決め、時計回りに進行します。順番が回ってきたプレイヤーは何人のプレイヤーがカードの内容を知っているかを予想して当てる「行動カード」、カードに書かれた内容に自分が挑戦する「チャレンジカード」のいずれかを手札から1枚選択します。選択したカードの内容にチャレンジし、制限時間内にポイントチップを多く集めた人がゲームのMVPとなります。「SATO-UMI・1000」を初めて知ったという受講者の方も多く、最初はルールを覚えるのに苦労している様子でしたが、既にゲームを知っている受講者や講師のアドバイスを受けながら、だんだんとゲームを理解し、楽しんでいる様子でした。その後、ゲームの振り返りを行い、メンバーとの対話の中で印象に残っていることを話し合いました。



休憩後、席替えをして「SATO-UMI・1000」を再度プレイしました。2回目ではゲームの進行がスムーズになり、1回目よりもゲームを楽しんでいる様子でした。受講者の中には、スーパーなどで海産物を購入する際に、“海のエコラベル”と呼ばれる水産資源と環境に配慮し、持続可能な漁業によって獲られた天然の水産物のみに付けられるMSC認証マークが付いた商品を積極的に購入している人もいそうで、「ゲームを通じて新たな発見があった」という意見もありました。

ゲームの後、理想の海カードの中から1枚を選び、理想の海について意見交換しました。最後に、参加者全員で記念撮影を行いました。講座終了後、「ルールを見たときは難しそうでしたが、実際にやってみると分かりやすかった」、「楽しく海についていろんな方とお話することができた」、「カフェの雰囲気もとても良く、リラックスして参加できた」などの感想がありました。

